

ふれんど通信

第14号

発行 平成24年10月20日 児童養護施設ふれんど

〒348-0047 羽生市大字下新郷 666 Tel.048-560-5866

「優しさの記憶」 施設長 吉岡 一孝

ノーベル賞作家の大江健三郎さんが「僕の人生で幸福だったのは、人間についてすぐれた言葉で語る多くの方と出会えたことです。その幸福感こそが僕の生のあかしです」と言っておられます。大作家と自分を対比する訳ではありませんが、その時なぜかすぐに「自分の人生で幸せだったのは、惜しみない優しさで子供や人々への実践を続けておられる方々に出会えたことだ。」という言葉が浮かび揚がってきました。

どちらかと言えば大江健三郎さんは「言葉の世界」で生き、私は子供たちの現実には直接働きかける「行動の世界」に身を置いてきたために前述の表現になるのでしょうか？仕事を通じて多くの方にお会いし、またお世話になりました。福祉の世界では特に障害児・者の分野で、私など驚きでしかなかったヒューマニティに富んだ、実践を続けておられた東松山のT寮長やSさん、大宮のY先生など。医療の世界ではやはり精神医療と障害児の療育に時間を忘れて取り組まれているM先生、S先生、O先生などに。また、仕事から司法の分野でも子どもをはじめとする弱い立場の人々の権利擁護のために日々奮闘されている多くの弁護士の方々に知己を得、感銘を受けるとともに自分の仕事ぶりが問われる思いもしたものです。それにしても何が先生方をしてそこまで駆り立てるのか、優しさの原点は何なのか、訝しくなるような思いが残るほどです。

しかし、私はここで先生方の熱い仕事ぶりや患者さんなどに対する思いを「優しさ」と表現しましたが、優しいとはどんなことなのでしょう？広辞苑と学研の漢和大辞典を引いてみても良く解りません。しかし、人はなぜ優しくされると心地よいのでしょうか。以前ふれんどが出来て間もない頃、小学1・2年が帰ってきてても職員が出勤前で「カギっ子では可哀そうだ」と頂き物のせんべいをあげたことがありました。そうすると1年生の子に「どうしてそんなに優しいの？」と言われ、かえって驚いたことがあります。

私自身も見知らぬ人に親切にされた忘れられぬ経験があります。それは55年以上も前の遠い昔のことですが、山奥の村の小学二年生だった私が担任の先生に連れられて高知の市内に行った時のことです。音楽発表会か何かだったと思いますが、薄暗い中で席がなく立っていた私は女子高校生らしき人に席を譲られました。たったそれだけの事ですが何故か今になっても忘れることがありません。そんな記憶の機会をふれんどの子どもたちに下さる後援会の方々のご厚意及び職員の仕事の中にも「優しさ」を日々感じています。

「作文集 泣くものか」を読んで新たな自覚・・・

先日、自宅の書棚を整理していた時に、「作文集 泣くものか」（児童養護施設協会編—昭和53年度毎日出版文化賞受賞）を見つけて、手に取りページをめくっているうちに、だんだんと引き込まれて、食事も忘れて読みました。

出版された当時も読んだ記憶がありますが、現在、自分自身が児童養護施設で子どもたちの生活を身近で見ている分、子どもたちの綴る事実の重みが、読む人の気持ちを引きつけるのだと思いました。

その中でも、特に印象に残ったA子さんの作文を紹介します。

「私が3歳の時にお母さんにおいていかれた。おばあちゃんの家の前で、車から降ろされた。『しばらくここで待っていて・・・』とお母さんは優しく言ってから、車に乗って行ってしまった。でもその時は、別に悲しくなかった。だってあんなにやさしかったお母さんが、私たちをおいて行くなんて、思ってもみなかった・・・・。」

詳しい事情も知らされずに、祖母のもとで暮らす子どもたち、子どもたちは、ひたすら待ち続けます。3年後に母親から手紙と洋服が送られてきます。喜ぶ子どもたちに、祖母は『もうお母さんは戻らないよ』と告げます。その時の自分の心をA子さんは「積み上げてきた積木が、人から急に壊された感じ」と表現します。

その後、祖母の体調不良もあり、児童養護施設に入所します。その生活の中でも、行方不明の母を思い、「もし、お母さんに新しい子どもができれば、自分たちの分まで大切にしてください。お母さんは私たちを忘れていないよね。時々は思いだしてよね・・・・。それだけが私の今の願い・・・・」（Aさん、中学3年生時の文章です。）

お母さんは、子どもには分からない事情があるにしても、自分たちをおいて行ったのです。その母が新しい家庭を築いて赤ちゃんが生まれることも予想して、その子の幸せを心から祈る内容です。これは悲しいくらいに切ない願いを表した文章です。

この中学3年生の心の広さ、親を思う一途な気持ちをこの作文から読み取りました。

自分の苦しかったこと、辛かったこと、悲しかったことを、だれにも味あわせたくないと思うのは、ごく少数の人だと思います。多くの人は自分の不幸を嘆き悔し紛れに愚痴をこぼします。大抵は自分と同じ思いを他の人も体験させたいと思います。それはまた新たな不幸を繰り返すことなのです。

みなさんはまだ子どもです。苦しい時はおおいに八つ当たりを大人にしてください。それで少し気がすんだら、元気を出して生活をしてください。

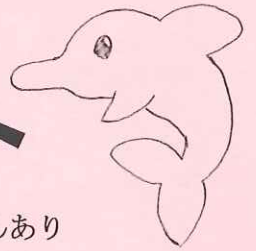
生活の折々に感じたことを、A子さんのように文章にして欲しいと思います。

「泣くものか」を読み、[児童養護施設は、A子さんの気持ちを正面から受け止める重要な仕事なんだ]と改めて自覚しました。

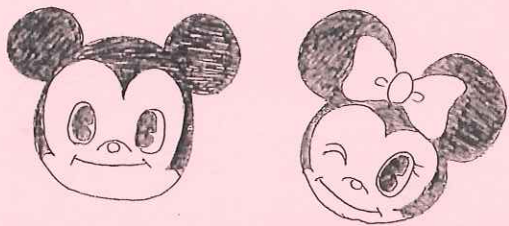
副園長 須藤 三千雄

たのしかった~!!

夏のイベント



この夏も、ソフトボール大会、一泊旅行など、楽しいイベントがたくさんありました。幼児さんは、初めての海にビックリ！イルカに会えて、感動！！



ぼくは今年1泊旅行で
ディズニーシーとかさいりんかい
公園に行きました。二日間歩
きはなしで、かわれたけれど
良い思い出になったのでよ
かったです。 H.T(中1)



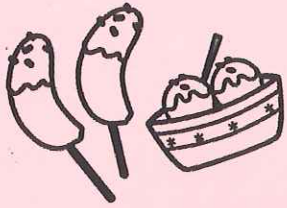
一泊旅行でディズニーシーに
行きました。一番楽しかった
のは、タワ・オブ・テラーでの景色
がすごくきれいでした。夜の
ショーもおもしろかったり。
花火がすごくきれいでした。
次の日は水族園に
行きました。見たことのない
魚がいっぱいいました。お
もしろい魚や変な魚もいま
した。とてもいい思い出です。O.M
(小5)

平成24年8月28日に新巻球技
大会でソフトボールの試合があ
りました。僕は先発ピッチャーとし
てマウンドにあがり今までの練習
の成果を存分に発揮しました。
攻撃ではランニングホームランを
決め、ウレンドでのMVPに選ば
れました。2年連続でのMVPは
うれしかったけど、試合に負けた
のは、くやしかったです。
来年もできればMVPもとリラン
ニングホームランも打ちたいです。

H.T(中3)

夏休みディズニーシーで
プロメテウス火山でキラに早く
てこあつたのでスポーツラバー
で上からこねたぶんがでてきて、
あめができました。でっけりい
ぎてあたまをぶつけてころ
ました。たのしかったです。
N.N(小2)





僕は、夏休み最後に行った残留見外出です。「ラウンド1」では決山運動しました。その後は、「BOOK-OFF」で漫画を買いました。いい思い出になりました。

N.K(中3)

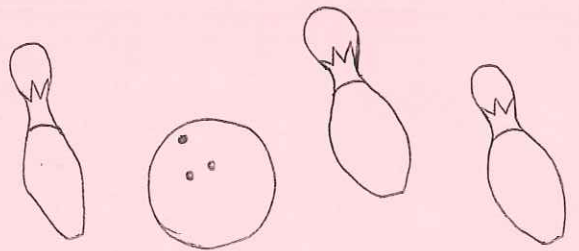
A棟のみんなと棟外出をしました。あと、ふれんど全体でディズニーに行きました。Y.M(小5)



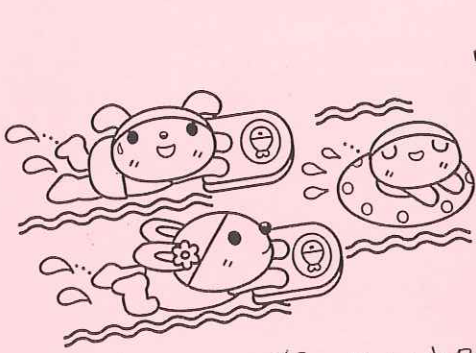
棟外出で、上尾水上公園とモラージュに行きました。とても楽しかったです。

プールが冷たくてとても気持ちよかったです。

M.M(小6)



私の夏の思い出は、一泊旅行で東京ディズニーシーに行った事です。アロに行っただけという事もあり、テニスが上がってしまいました。あまりキラメーには会えませんでした。とても楽しかったです!! T.H(高1)



なやみにサッカー
をしました。
おあきいおにいらん
から、ボールを
して、シュートで
きました。
うれしかったです。
小1.S.A

—あ、という間の夏休み—

正直、今年の夏休みは、特にこれといった思い出はありません。なぜなら、ほぼ毎日、部活三昧の日々だ、だからです。暑い日も、毎日、休むことなく練習に取り組みました。また、練習した成果がし、かり発輝でき、十月四日の新人戦(団体戦)で優勝することができました。

学習面では、部活が多か、たため、あまり勉強に手がつきませんでした。なので、今度の冬休みは、来年の受験にも向けて、勉強をがんばります。

部活と勉強を両立させ、充実した休みを今後とは、ていきたいです。

中2 Y.A



ディズニージョー
トイ・ストーリー
ーとインディジョ
ーゾフにのっ
てたのしか、で
す。次の日、うみに
行きました。ふくが
ぬれました。つめ
たか、たです。

K.A
(小4)

A棟のみんなで、
外出をしました。
モラージュに行っ
たり、夜ごはん
はすたみな太郎
にいきました。
あたまな太郎で、
おいしい物をい
っぱいたべまし
た。たのしか、たです。

S.R(中1)

—夏をこえて—
 私はこの夏、職場実習をしました。熊谷にある、びくりドンキーでした。電車とバスを使って通いました。主にバックヤードでしただが、お客様にサラダを作るので、それを食べて頂けるのがとても嬉しく思いました。暑い日でしたが、作業に集中していたので、暑さも乗り越えました。私は色々な人に支えられ、自然と自信になりました。
 この夏を振り返ると、とても貴重な体験ができたと思います。今思うと、自分は変われることの大切さを知りました。人は、体験することによって前へと進めるんだと思ったので、前向きな気持ちになることができた夏でした。
 高2 M.M



幼児さんの一泊旅行。マザー牧場では、こぶたのレースが大人気!

わたしがなっで
 いちばん たのしかったのは
 はなび です。

じぶんでもってやった
 のが たのしかったよ。
 かきごありの コーラが
 おいしかったです♡



Y.Y (年長)



新任職員紹介



三澤 いづみ

? 年 6月10日 生まれ

双子座 A型

趣味 以前は旅行でした。

(最近では時間や経済的に(?) 余裕がなくて、行って
 いないです)

8月1日からの職員の仲間入りを
 いたしました。9月からB棟の職員
 です。どうぞよろしくお願いいたします。

今は、バレーボールです。地元のママさんバレーチームで
 年3~4回の大会で、優勝をめざして仲間と練習しています。
 練習や試合が終わると体のあちこちが「痛い」と言い
 ながら、ケガをしないように楽しくやっています。

心理士から

ここに来てから何人の子どもさん達と会ったでしょうか。年齢も入所理由も様々ですが、みんな重い荷物を背負ってここにたどり着いた子どもさんばかりです。そんな子どもさんたちに1週1回50分で何が出来るでしょうか？

私と定期的面会を始めるとき、最初に3つのことを伝えてあります。1つは終了時間を守ること2つ目は故意に物を壊さないこと3つ目は黙って物を持ち出さないことです。1はなれてくると中々守られないことがあります。信頼関係が出来上がるに従って守られるようになります。ただところが不安定なときは中々帰ろうとしません、そんなときはちょっと延長もします。2については対象が女の子のためでしょうか破られたことはありません。3については最初の年は何回黙って持ち出しがありました。きちんと理由を言って返却してもらってからはなくなりました。私からはこの時間帯に「安心」と「安全」と「自由」を提供できるように、それは施設の方針の上に特別の時間として、「ほっとできる」その子だけの個別のすごし方が保障できたらと思っています。そしてその中で子どもが自分を見つけ、認め、受け入れて自分らしく生きる基礎が出来ることを祈っているのですが……。

佐藤 協子

. ★ あすなろ (地域小規模多機能施設) から ★ *.* *

長い夏休みが過ぎ、2学期がスタートしました。暑い夏を乗り越え、子どもたちは元気に生活しています。

— 子どもたちの成長の日々 —

- 高2のMちゃん…10月から部活動の朝練習が始まり、更に一生懸命取り組む姿が見られます。2学期の職場実習も終了し、本なりに将来について考え始めているようです。
- 高2のMさん…学校行事や専科の授業に、一生懸命取り組んでいます。生活の中で、できることが増えてきました。
- 高1のAちゃん…夏休みは、福祉施設の夏祭りボランティアに2回程参加しました。実習も頑張っています。
- 中2のYちゃん…4月にふれんどからあすなろに来ました。あすなろの生活には慣れたようです。部活動に熱心に取り組んでいて、今後の活躍を期待されています。
- 中1のMちゃん…中学校へ入学し、交友関係が広が。た分、悩むことも多いようです。最近はお菓子作りを始めました。
- 小6のJちゃん…運動会の鼓笛隊では主指揮として大活躍し、立派な姿を見せてくれました。以前より交友関係が良くなり、学校が楽しいと言っています。
- 小3のKちゃん…毎日のように友人と外へ遊びに出かけます。他学年との交流もあるようで、お友達がたくさんいます。

今後も子どもたちの成長を見守っていきたいと思います。

日誌

※毎月、職員会議・自立支援検討会議を実施

※随時、職員研修を実施

8月

各棟棟外出・残留児外出

19日：新二小 除草作業

25日：川俣小 親子除草清掃

9月

3日：小・中・高校 始業式

7～8日：誠和高 文化祭

9日：新二小 資源回収

24日：西中 中間テスト

25日：羽実高 開校記念日

南中 到達度テスト

26日：西中 合唱コンクール

27日：誠和高1年見学実習

30日：新二小・川俣小 運動会

10月

1日：小学校 振替休日

羽生高 後期始業

3日：誠和高 1年見学実習

4日：新二小 就学時健診

5日：羽実高 体育祭

10日：南中 3年第3回実力テスト

11日：誠和高 体育祭

13日：川俣小 資源回収

16～18日：南中 2年職場体験

17～18日：西中 2年職場体験

17～19日：羽実高 中間考査

17日：新二小 親子自転車教室

20日：羽生高 第44回勾玉祭

21日：市民体育祭

23日：誠和高 中間考査

24～25日：川俣小 6年修学旅行

26～27日：羽実高 羽実祭

27日：新二小 すずかけ祭り

29～30日：新二小 6年修学旅行

11月

1日：市内音楽会

3日：ふれんど運動会

8日：羽生高 開校記念日

11日：ふれんど七五三

15日：南中 3年第4回実力テスト

16日：川俣小 5年社会科見学

新二小 持久走大会

17日：ふじ高 第6回ふじ学園祭

18日：新二小 資源回収

21～22日：南中 到達度テスト

21～28日：川俣小 個人面談

26～27日：西中 期末試験

30日：川俣小 校内持久走大会



いつも温かいご支援ありがとうございます

～寄贈品～

荒井道子、セカンド・ハーベスト・ジャパン、比賀電機、栗原商店、鳥福精肉店、木村周作商店、マギーシューズ、川田ホンダ、岡戸新郷局長、くわの実入所者御家族、久保整骨院、斉藤悦也、井田治久、ダノンジャパン(株)、白倉文明、更生保護女性会、田次工務店、岡戸経子、大月都、石原ミサヲ

(敬称略・順不同)

<編集後記>

今年度ふれんどで運動会が開催されます。幼児～高校生、職員全員でソーラン節を踊ります。子ども達も初めてのふれんど運動会を楽しみにしているようです。

担当：長島・木村